

## 第49回大崎上島町公共交通連携協議会 議事要旨

### 【開催概要】

日 時 令和8年1月23日(金) 13時30分～14時30分

場 所 大崎上島町役場本庁 2階大会議室

出席者 18名

団体名	職名等	氏 名	出席者
広島商船高等専門学校	嘱託教授	岡山正人(議長)	○
さんようバス株式会社	代表取締役社長	土井俊斉	○
さんようバス株式会社	従業員代表	佐村 優	○
広島県旅客船協会	専務理事	迫田武利	○
山陽商船株式会社	代表取締役専務	日浦徹治	○
大崎汽船株式会社	代表取締役	川本公夫	○
大崎上島町議会	議長	閑田大祐	○
大崎上島町議会	産業建設常任委員会委員長	赤松良雄	○
大崎上島町連合区長会	副会長	桑原富生	○
大崎上島町商工会	会長	信谷 裕	○
大崎上島町社会福祉協議会	会長	有田卓也	○
大崎上島町地域女性連合会	会長	田房明美	○(代理 賀川一枝)
大崎上島町観光協会	会長	中原幸太	○(代理 小林弘志)
中国運輸局尾道海事事務所	首席運輸企画専門官	大林正明	○
中国運輸局広島運輸支局	首席運輸企画専門官	蔦 真	○
広島県地域政策局	公共交通政策課長	水本全彦	web(代理 河越信二郎)
竹原警察署	大崎上島分庁舎長	平田和也	欠席
大崎上島町	副町長	小田 博(会長)	欠席
大崎上島町	地域経営課長	三村竜也	○
大崎上島町	建設課長	下川 昇	○

## 【議 事】

### 1. 開 会

<事務局より、開会宣言>

### 2. 議 題

#### (1) 協議事項

##### ①地域公共交通計画策定に係る町民アンケート結果並びに同計画の素案について

事務局	<資料説明>
議 長	ただいまの説明につきまして、ご質問等ありましたらお願いします。
委 員	フェリーの更新は大変重要な課題と考えます。船の故障により欠航になれば、住民が一番困るのですが、民間の事業者任せになっているのが現状です。せっかく協議会があるのだから、少し突っ込んだ議論をしても良いのではないのでしょうか。
事務局	船の老朽化に伴う問題、すなわち莫大な経費が必要なため事業者のみで新造が不可能であるといった問題は、本町だけでなく、県内の他の航路でも同様であり、県内の共通課題となっています。そのため広島県では、航路事業者と分科会を開催しており、県全体での検討や国との調整等も行う予定となっています。町としても前向きに、事業者と協議していきます。
委 員	資料2の目標達成状況について、前計画で評価指標として設定されていた観光客数を、今回外された理由をお聞きしたいです。また、23ページ以降に目標を達成するための事業を挙げられていますが、その中の乗り継ぎ・待合環境の改善事例や、地域公共交通の利用促進事業については、実績などを評価指標に入れても良いのではないのでしょうか。
事務局	観光客数を外した理由について、本計画は公共交通の計画という位置付けであり、その利便性を上げることで、間接的には観光客数も応じて伸びるものと考えています。更に令和2年から続いたコロナ禍で一気に減少して目標達成が見込み難いこともあり、今回は、公共交通の施策効果の延長上としてはあるものの、観光客数自体を目標指標としては設定していません。
委 員	もう1つの乗合環境改善事業、公共交通促進事業についても、事業を行ったことを評価する指標を設定しても良いかと思しますので、可能であれば検討をお願いします。
委 員	アンケートにもありましたが竹原航路に港が2つあるために、乗客が長い時間待つような状況がみられますが、改善できないのでしょうか。以前、実証実験で垂水-白水間にバスを走らせたことがありました。また、デマンド型おと姫バスの予約が取りにくいこともあります。これらに対して、例えば、広島叡智学園の周辺で、レベル4の自動運転バスを買物のために走らせる等ができれば、町民も余裕を持ってデマンド型を利用できます。広島叡智学園が独自に車を出して走らせてもらうのが一番良いと思いますが国の補助を活用して実証実験等を実施し、どのような問題、課題があるかを確認する。こうした事も含めて考えるべきではないのでしょうか。
事務局	ご指摘の通り、デマンド型おと姫バスは学生の利用が特に多く、場合によっては高齢

	者の方の予約が取れないこともあります。これに対しては、利用者が多い時間帯の状況を調査し、運行時間の見直しや、需要があるところに台数を増やすなどして、今後の課題として取り組みます。
委員	25ページの「少量輸送に対応する運行サービス検討」に「ライドシェア等の適応性を検討します」と記載されていますが、これはどういったスケジュール感でしょうか。もしライドシェアが実現すれば何等かの希望が見えると思います。
事務局	ライドシェアについては、町内のNPO団体が独自で聞き取り調査等を実施し、またバスやタクシー事業者とも話しをしています。今後、町民アンケートやNPOからいただいている調査結果を確認して、進め方を考えるという段階です。
委員	もしこれが実現すれば、他所から見たときに、過疎の町が先進的なことをやっている、という対外的なPRになると思います。
委員	20ページの本土とのアクセスに関連して、フェリー事業者には今の時期、強風等もある中で難しい運航をしてもらっています。今治-木江航路においては、今治周辺が強風の場合は運休となりますが、その場合、木江～宗方だけでも運航できないでしょうか。宮浦を待機場所にするなども考えられます。
事務局	基本的に、終業後はフェリーを今治港に着けているため、強風の日も宗方までも来られないと思います。また、宮浦港は航路から離れており使えません。岡村、宗方、天満の間で風予測をして船を置いておくことも難しいと思われるので、ご了承いただきたいです。
委員	そこは理解していますが、例えば防災面でも島外にどうしても出なければならない場合があるかもしれません。もし今治と協議をされているのであれば宮浦が離れているから待機場所にならないではなく、危機管理上の視点でも協議いただきたいです。
議長	その他はよろしいでしょうか。 今後また細かいことが出てくるようであれば事務局にご連絡ください。また、パブリックコメントを実施するということですが、了承でよろしいでしょうか。
一同	異議なし。
議長	それでは了承とします。

## ②地域公共交通確保維持改善事業・事業評価（計画策定等に係る事業）について

事務局	<資料説明>
議長	ただいまの説明につきまして、ご質問等ありましたらお願いします。 ないようですので本日の議事は終了します。

以上